

1. 科目名 (単位数)	教育心理学 (初等・小) (2 単位)	3. 科目番号	EDTE2105
2. 授業担当教員	水谷 聡秀		
4. 授業形態	講義、演習、グループディスカッション	5. 開講学期	秋期
6. 履修条件・他科目との関係	「心理学入門」を履修していることが望ましい。		
7. 講義概要	教育心理学とは子どもを教育していく上で必要となる人間科学の知識を提示し、子どもの成長を促すためのより良い教育とは何かを心理学的視点から解説する学問である。教育心理学の基礎とされる発達、学習、人格、測定・評価の4つの領域について基礎知識を深め、今日の教育の現場が必要としている問題解決のための諸要因を解説する。本講義では、以上のような基礎知識の習得に加え、事例に則り、それらの知識をいかに教育の実践に役立てていくのか検討する。併せて、現実の教育現場で起きている諸問題に対する支援の在り方についても考察する。		
8. 学習目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 教育学と心理学の深い関係を理解し、説明できるようになる。 2. 教育場面において生じる問題及びその背景について指摘できるようになる。 3. 子どもの発達と学習能力を高めるさまざまな要因について理解できるようになる。 4. 教育の目的から考える学校生活のあり方：理論と実践の違いを理解し、説明できるようになる。 5. 教育現場における心理社会的課題及び必要な支援について考察できるようになる。 		
9. アサイメント (宿題) 及びレポート課題	<ul style="list-style-type: none"> ・講義前には必ず該当部分に目を通し、疑問点を明確にしておく。 ・2回レポートを提出する。(A4用紙 2枚、2,400字以上) <ul style="list-style-type: none"> A 第1回から第6回の中から自分が興味を持ったテーマについて B 第8回から第14回の中から自分が興味を持ったテーマについて *各レポート課題とも、そのテーマの概要を紹介し、どこに興味を持ったのか、疑問点は何か、また自分の意見を、文献を2、3冊参考にしてまとめる。 		
10. 教科書・参考書・教材	<p>【教科書】 安齊順子・荷方邦夫 (編) 『「使える」教育心理学』<第4版>北樹出版</p> <p>【参考書】 必要に応じて、適宜、資料を配付する。また、他に参考書がある場合はそのつど指定する。</p>		
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 教育心理学の基本的な知識を理解し、説明できるか。 2. 教育心理学の知識を教育の場で応用し、活用する力がついたか。 <p>○評定の方法</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 授業への参加態度 総合点の30% 2 試験 (小テスト・期末テスト等) 総合点の40% 3 課題 (レポート等) 総合点の30% 		
12. 受講生へのメッセージ	<ul style="list-style-type: none"> ・討議を毎回取り入れるので、積極的に発言してほしい。 ・授業は正当な理由がない限り、欠席、遅刻、早退をしないこと。 ・他の受講生の学習に迷惑をかける行為 (携帯電話の操作、私語、居眠り、グループ活動に協力しない等) をしないこと。特に私語については厳しく対応する。 		
13. オフィスアワー	第1回の講義の際に指示をする。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	ガイダンス 教育心理学とは何か 教育心理学の内容と方法を学ぶ	事前学習	教育における心理学の活用についてまとめてくる。
		事後学習	授業内容をノートに整理する。
第2回	発達 発達の概念を理解し、各種の発達理論を学ぶ	事前学習	教科書の第1章 (pp.22~46) を通読する。
		事後学習	授業内容をノートに整理する。
第3回	学習理論 様々な学習の理論について学ぶ	事前学習	教科書の第2章 (pp.47~62) を通読する。
		事後学習	授業内容をノートに整理する。
第4回	動機づけ 動機づけの理論を学び、動機づけを高めるにはどうするかを考える	事前学習	教科書の第2章 (pp.47~62) を再確認する。
		事後学習	授業内容をノートに整理する。
第5回	学習指導 (1) プログラム学習、発見学習、有意義受容学習、学習の個別化などの学習指導の方法を学び、その背景にある学習理論を理解する	事前学習	教科書の第3章 (pp.63~79) を通読する。
		事後学習	授業内容をノートに整理する。
第6回	学習指導 (2) コンピュータや集団を用いた学習指導の方法を学び、その背景にある学習理論を理解する	事前学習	教科書の第3章 (pp.63~79) を再確認する。
		事後学習	授業内容をノートに整理する。
第7回	レポート発表 (A)	事前学習	レポート発表 (A) の準備をする。
		事後学習	討議の内容をノートに整理する。
第8回	学級の心理 (1) 学級の心理の背景にある社会心理学的理論を学ぶ	事前学習	教科書の第4章 (pp.80~90) を通読する。
		事後学習	授業内容をノートに整理する。
第9回	学級の心理 (2) 学級の心理の背景にある歴史や文化の特質を社会心理学的側面から考察する	事前学習	教科書の第4章 (pp.80~90) を再確認する。
		事後学習	授業内容をノートに整理する。
第10回	教育評価 教育評価の方法と意義、問題点などを学ぶ	事前学習	教科書の第5章 (pp.98~113) を通読する。
		事後学習	授業内容をノートに整理する。

第11回	学校における心理的問題（1） いじめの原因や背景について考察する	事前学習	教科書の第4章（pp.90～97）を通読する。
		事後学習	授業内容をノートに整理する。
第12回	学校における心理的問題（2） 不登校や自殺の原因や背景について考察する	事前学習	教科書の第9章（pp.157～171）を通読する。
		事後学習	授業内容をノートに整理する。
第13回	ウェルビーイング ウェルビーイングの向上と徳の二面性	事前学習	配布資料を読み、自分自身や子どもへの教育について考える。
		事後学習	討議の内容をノートにまとめる。
第14回	特別支援教育と発達障害 発達障害について理解し、その支援について学ぶ	事前学習	教科書の第10章（pp.172～189）を通読する。
		事後学習	授業内容をノートに整理する。
第15回	授業の総括、小テスト、レポート提出（B）	事前学習	これまでの授業を振り返り、興味のある点や疑問を持った点を考えてくる。
		事後学習	これまでの授業を振り返り、これまでのノートの整理を行う。